

1) 西口駅前広場に関する検討の進め方

第5回推進会議で確認!

西口駅前広場のデザインの方向性

- 駅と商店街などまちのにぎわいが融合し、人々の交流を育む広場
- 駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊性をつくる広場

西口駅前広場 デザインの基本的な視点・考え方

駅とまちのにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

○ にぎわいなど街の魅力を感じる

- ・ 駅と商店街など周辺のにぎわいが連続した歩行者空間
- ・ 駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊の起点として、人が集い交流できる場
- ・ 清潔で快適な歩行者環境

○ 歩きやすく、利用しやすい

- ・ 人にやさしく、利用しやすい交通施設
- ・ 来街者に分かりやすい表現の案内情報の提供
- ・ 悪天候時にも安全、円滑に移動できる歩行者環境
- ・ 誰もが利用しやすいユニバーサルデザインへの配慮(子ども連れや身障者、高齢者などへの配慮)

○ ゆとりやうるおいを感じる

- ・ 朝夕のピーク時にもスムーズに移動ができる歩行者空間
- ・ 休息や待合せなど、快適に過ごせる歩行者環境
- ・ 植栽などによる四季を感じさせる広場の演出

○ 環境にやさしい

- ・ 省エネルギーへの配慮
- ・ ヒートアイランド緩和への配慮

○ まちの防災力を高める

- ・ 一時避難のためのスペースや設備の確保
- ・ 発災時の災害、交通情報などの提供
- ・ 犯罪の少ない安全安心なまちの実現

整備の方向性

- ・ 歩行者の流れに配慮した広場
- ・ 悪天候時も歩きやすい駅とまちをつなぐ動線の確保
- ・ 広場と商店街との一体感の創出、演出

デザイン・コンセプトの方向性

開放感・一体感を重視したデザイン

あるいは スペース毎の特徴や機能を表現したデザイン など

歴史を重視したデザイン

あるいは 先進性を重視したデザイン など

明るさを基調としたデザイン

あるいは 落ち着きを基調としたデザイン など

緑の配置の考え方

蒲田駅東西駅前広場の関係

スペース別 環境形成の方向性

場所性、周辺とのつながりに配慮した環境形成の考え方

【広場 北側・西側スペース】

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換や大学・専門学校などのまちに流れる動線を考慮した歩行者環境づくり

【広場 駅前スペース】

駅利用者や来街者の交錯を考慮したゆとりある歩行者環境づくり・駅とまちの情報発信を行う駅前環境づくり

【広場 南側スペース】

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換や商店街などのまちに流れる動線を考慮した歩行者環境づくり・まとまった広場スペースの有効活用

【タクシー乗車スペース】

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換利便性に配慮した分かりやすい乗り場づくり

空間を演出する機能(設備)配置の考え方

駅前広場に必要設備機能の基本的な配置の考え方

待合せ、交流などに必要な機能(設備)や緑化・しつらえについて

西口駅前広場計画の整備指針(案)

1. 西口駅前広場の基本的な視点・考え方

駅とまちのにぎわいを紡ぐ、人と環境にやさしい駅前広場

- にぎわいなど街の魅力を感じる
- 歩きやすく、利用しやすい
- ゆとりやうるおいを感じる
- 環境にやさしい
- まちの防災力を高める



現況の整理

2. デザインコンセプト

デザインや色調などによるデザイン方コンセプト方針

3. 各スペースの環境形成の方針

歩行者環境の改善を重視した各スペースの環境形成

- 広場 北側スペース
- 広場 西側スペース
- 広場 駅前スペース
- 広場 南側スペース
- タクシー乗車スペース

4. 空間を演出する機能(設備)配置の方針

i) 出会い、交流を促す機能(設備)

- ・ 目印になるモニュメント、時計塔、ベンチ など
- ・ イベントなどがしやすく、歩きやすい広場スペース など

ii) 駅とまちをつなぐ機能(設備)

- ・ サイン、案内板 など
- ・ シェルター、バリアフリー など

iii) 災害・緊急時に備える機能(設備)

- ・ AEDシステム、公衆電話BOX、照明 など

iv) 環境配慮を促す機能(設備)

- ・ ドライミスト、ソーラーパネル、保水性舗装、雨水貯留 など

v) 緑化

- ・ 高木、低木の列植、壁面緑化 など

4) 西口駅前広場 スペース別 環境形成の方向性

西口駅前広場内の5つのスペースについて、周辺とのつながりによるスペースの特徴に合わせた環境形成の考えを以下に示す。

広場 西側スペース

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換えや商店街などのまちに流れる動線を考慮した歩行者環境づくり

現況	計画
<ul style="list-style-type: none"> 一方通行の自動車や自転車の通行により、広場の一体的な利用が出来ていない 駅とまちをつなぐ動線上に歩行者を妨げる植栽帯やモニュメント 	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑に移動できるための動線確保(歩道のセミフラット化) ○歩行者の妨げに配慮し、駅からもバス乗車場への見通しがきく植栽配置 ○駅とまちをつなぐ雨、風、陽射しをしのぐシェルターの連続

A-A'断面イメージ
(シェルターを配置した場合)

歩道(商店街側) 車道 歩道(駅前広場側)

歩道のセミフラット化によるスムーズな動線確保

広場 北側スペース

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換えや大学・専門学校などのまちに流れる動線を考慮した歩行者環境づくり

現況	計画
<ul style="list-style-type: none"> 駅とまちをつなぐ動線上の植栽帯により、駅への視認性や空間の有効活用が出来ていない 植栽帯を避けて車道部を通行する歩行者がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑に移動できるための動線確保(歩道の段差解消) ○歩行者の妨げに配慮した植栽配置による空間の有効活用、適切な誘導

動線の錯綜
車道の横断

タクシー乗車スペース

タクシーへの乗換利便性に配慮した分かりやすい乗り場づくり

現況	計画
<ul style="list-style-type: none"> 駅からタクシー乗車スペースや、まちへとつながる動線上に屋根などの雨避け施設が断続的 	<ul style="list-style-type: none"> ○駅と乗車場をつなぐ雨、風、陽射しをしのぐシェルターの配置 ○公共交通との乗換えを円滑にするために歩行者動線とタクシー乗車待ち行列を分離 ○分かりやすい案内板の設置

B-B'断面イメージ

広場南側 タクシー乗車スペース

広場 駅前スペース

駅利用者や来街者の交錯を配慮したゆとりある歩行者環境づくり・駅とまちの情報発信を行う駅前環境づくり

現況	計画
<ul style="list-style-type: none"> 多様な目的を持った歩行者動線の錯綜 <ul style="list-style-type: none"> -公共交通乗換えの歩行者 -駅前の前面道路を通過する歩行者 -押し歩き自転車利用者 -待ち合わせなど留まる歩行者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○歩行者、押し歩き自転車が通過できる歩道幅員の確保 ○交通情報やまち案内などまちへ円滑に人を流すための情報発信、サイン ○歩行者のための滞留空間の確保 ○遠くからでも駅への見通しがきく駅ビルと連携した駅とまちの結節空間に相応しい設え

C-C'断面イメージ

駅前案内情報イメージ 音声による案内板のイメージ

まちの情報発信(案内板)

車道 駅ビル前面の歩道

広場 南側スペース

公共交通(鉄道・バス・タクシー)への乗換えや商店街などのまちに流れる動線を考慮した歩行者環境づくり・まとまった広場スペースの有効活用

現況	計画
<ul style="list-style-type: none"> 広場南側の広場スペースの段差により、歩行者動線の迂回 見通しが悪く、待ち合わせ時などに有効的に活用されていない広場中央のシンボルツリー周りのベンチ 車道による広場南側と商店街などの周辺と分断 	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑に移動するために広場南側中央部の段差解消 ○駅やまちから見通しがきくまとまったオープンスペースの確保 ○動線に配慮したシンボル機能の配置による待ち合わせ機能強化 ○舗装デザインなどによる広場の一体感の演出 ○車道のセミフラット化による駅とまちのつながりを強化 ○災害時、帰宅困難者などへの情報発信

凡例
:歩行者動線

凡例

- 自由通路
- 駅ビルを通る歩行者ネットワーク
- 歩行者動線
- 北側スペース、西側スペース
- タクシー乗車スペース
- 広場南側スペース
- 駅前スペース

北側スペース
駅前スペース
西側スペース
タクシー乗車スペース
広場南側スペース
JR蒲田駅
東急蒲田駅

3) 空間を演出する機能(設備)配置の方針

i) 出会い、交流を促す機能(設備)

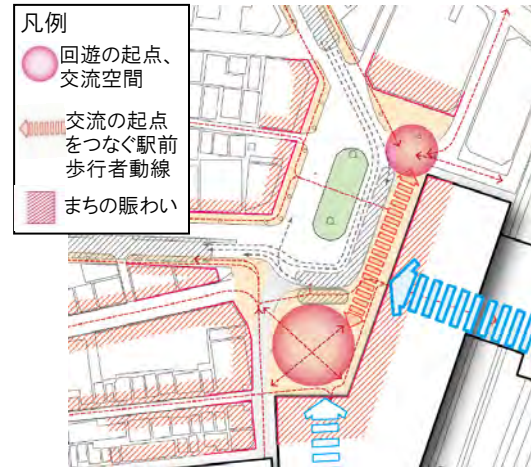
[機能(設備)を配置することの効果]

- ・駅と商店街や大学・専門学校など周辺を結ぶ回遊の起点として、人が出会い・交流する
- ・多世代(高齢者・子育て世代)の来訪者の集いや交流によってにぎわいがうまれる

機能(設備)イメージ



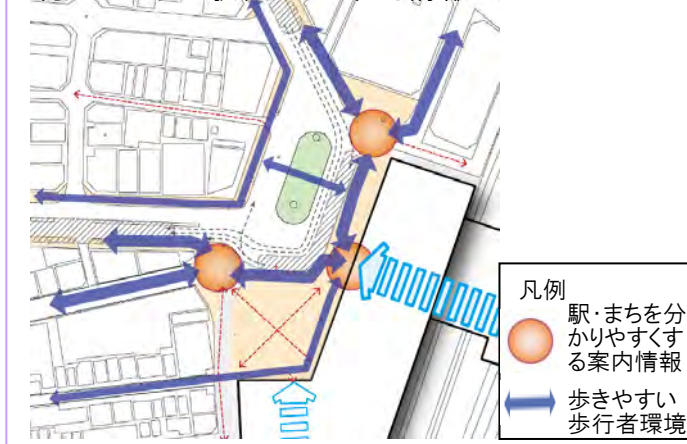
出会い・交流のイメージ



ii) 駅とまちをつなぐ機能(設備)

[機能(設備)を配置することの効果]

- ・利用しやすい交通施設
- ・悪天候時にも安全、円滑に移動できる歩行者環境
- ・誰もが利用しやすいユニバーサルデザインへの配慮
- ・分かりやすい駅、まちの案内情報



機能(設備)イメージ



iii) 災害・緊急時に備える機能(設備)

[機能(設備)を配置することの効果]

- ・災害時に交通状況などの情報提供が可能
- ・災害時に活動できる体制が構築(まちづくりと連携)

機能(設備)イメージ



iv) 環境配慮を促す機能(設備)

[機能(設備)を配置することの効果]

- ・地球温暖化に対する省エネルギーへの配慮
- ・ヒートアイランド緩和への配慮

機能(設備)イメージ



v) 緑化

[機能(設備)を配置することの効果]

- ・緑化により、四季を感じさせる広場の演出、ヒートアイランドの緩和

機能(設備)イメージ



緑化空間のイメージ



4) 配置イメージ

駅前広場の一体感がある 舗装デザイン

- ・駅前広場に面する歩道の舗装デザインを統一し、一体感を表現
- ・駅周辺の多様な色彩に配慮した落ち着いた色を採用



有楽町駅 中央口



新潟駅南口

各々のスペースの使い方を表現した舗装デザイン

- ・人が集まるスペースや行き交うスペースに合わせて、方向を示すなどした特徴を持った舗装デザイン
- ・出会いや交流などの賑わいを表現しながらも、誘導用ブロックの輝度比に配慮した明るめの暖色を採用



東京駅丸の内
・行幸通り



川口駅東口公共広場



札幌駅

まちの顔となる 広場の仕掛けづくり(交流機能設備)

待合せや人が集まる仕掛けとして、モニュメントを配置しシンボル性を高める



モニュメントイメージ



待合せスポットの
時計塔

休憩するためのベンチと憩い空間を演出する植栽



ベンチと植栽イメージ

イベントなどがしやすい広場スペース



イベント活動イメージ

緑の配置

歩行者動線を誘導するなど方向性を示す樹木の列植や壁面による立体的な緑化



壁面緑化(信濃町駅外構)



棚状の緑

待ち合わせスペースのシンボルツリー

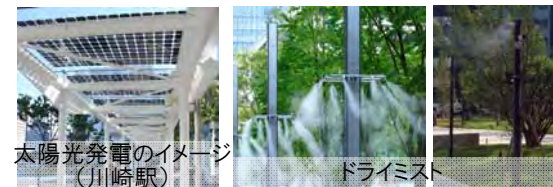


シンボルツリー(仙川駅前広場)

環境、防災・防犯に配慮した歩行者環境づくり

環境配慮機能

- ・屋外の気温上昇を低減する環境設備(ドライミスト等)の導入
- ・自然エネルギーの活用による省エネルギー・効率化



太陽光発電のイメージ
(川崎駅)

ドライミスト

防災・防犯機能

- ・一時避難のためのスペースや設備の確保
- ・昼夜問わず、人の目が行き届いた安全・安心な広場の形成



AEDシステム

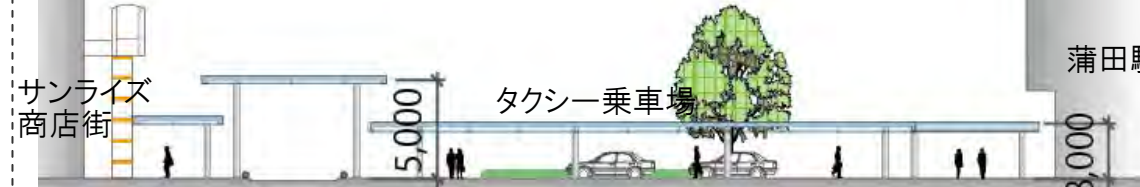
太陽光LED街路灯

公衆電話BOX

駅とまちをつなぐ歩行者環境づくり

- ・悪天候時にも駅からまちへとスムーズに歩けるシェルターの設置

A-A'断面



サンライズ
商店街

タクシー乗車場

蒲田駅

舗装材(例)

- ・歩行の快適性、耐久性、視認性を備えた舗装材の採用
- ・環境に配慮した舗装材の採用

